

※原作、アニメの設定がごちゃ混ぜなので注意

モジャモジャ星出身の宇宙人。本名がとてつもなく長く、「モジャラ・ハナモゲラ・サナダビントニクス・フランサスカッチ・リトルフッド・ビクニン・アレキサンドロポニック・コニックタランペリー・クチュクチュ・スッパピッピー・パイポッポー公爵」。通称モジャ公。語尾は「モジャ」。一人称は「おれ」。



オレンジ色の毛玉みたいな外見。食いしん坊でかわいい女の子に弱い。(人間の女の子ももちろん射程内。美的感覚は宇宙共通なのかしら?)

空気を吸い込み風船みたいに膨らんで宙に浮いたり、舌を伸ばして手のように使ったりできる。水が苦手で水をかぶるとべったんこになってしまう。しばらくしたらもとにもどるよ。

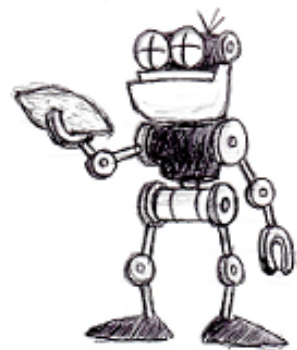
モジャ公 ストーリーはモジャモジャ星から宇宙ロボットのドンモと一緒に地球にやってきて、家出したがっていた空夫くんを連れて宇宙へと壮大な家出に出發!という感じ。わりとダークだったり重めだったりする話も多いので大人でも楽しめるのではないかと。でもしっかりギャグだよ。

アニメ版では地球を拠点に宇宙のあちこちに行く感じのお話になっている。

『21 エモン』の登場キャラ。芋ほりのために作られたロボット。「つづれ屋」というホテルでボーイをやっている。サツマイモに対する情熱は他の追随を許さない。サツマイモに対して以外はわりと適当というか興味ないというかドライ。どこかの方言(東北弁?)で話す。見た目は右のイラストのような感じ。

不思議とツボにはまる感じのキャラである。しゃべるだけでなんとなくおもしろい。

実はこのゴンスケ、F先生のお気に入りキャラだったようで、『ウメ星デンカ』など他作品にも登場している。セリフのないモブとしての登場ならそれこそ膨大な数になる。最近でも2012年公開の『のび太と奇跡の島〜アニマルアドベンチャー〜』、2013年公開の『のび太のひみつ道具博物館』、2012年のドラえもん誕生日スペシャルで放映された『アリガトデスからの大脱走』なんかにも登場している。今のアニメスタッフにもゴンスケが好きな人がいるにちがいない!これだけ頻繁に登場しているのだから今後も大いに活躍してくれることだろう。次の登場が今から非常に楽しみである。



ゴンスケ